

ジュニア賞

いい言葉かけゲーム

川田 太陽 (小学6年生：広島県)

ぼくの小学校では、言ってもらってうれしかったことやしてもらってうれしかったことをカードに書いて学校にあるポストに入れるといいものが選ばれて給食の時間に放送される取り組みがあります。このように紹介されると友達はこのことをしてもらおうとうれしくなるんだとわかりました。

でも、いざ友達を前にするとなかなか思った通りに友達がうれしくなる言葉をかけることはできません。友達の悪いところばかりに気がつき、いやなことばかり言ってしまいます。

そこで、こんなゲームがあればふだんからいい言葉かけができるのではないかと思いつきました。このゲームは、スマートフォンやパソコンの画面にある人物が登場します。その人物は、いやな言葉を言ってきます。その言葉をうれしくなるような言葉に変えてマイクに向かってしゃべります。こうすることによってうれしい言葉に変えることができるとうれしいポイントが増えていきます。このとき、いやな言葉を言われてうれしい言葉を返す時間を計っています。この時間が短いほどポイントが大きくなります。このゲームによっていい言葉かけをする訓練ができて友達と仲良くできるようになると思います。言い方を変えるだけでみんなが気持ちよく生活できるとみんなが幸せになると思います。